

本記入例はあくまでも一例です。推薦書を作成する上での参考として下さい。

土木学会田中賞「作品部門」(新設) 推薦書 記入要項

1. 「田中賞募集要項」ならびに、この記入要項をよく読んでから、推薦書の記入を行って下さい。
2. 推薦書は1/8～8/8の8頁から成っています。様式は変更しないで下さい。
3. 「新設」および「既設」の推薦書では、1/8が異なりますので注意して下さい。2/8～8/8は共通です。
4. 推薦書は、PDFファイルとし、HPの記載に従ってウェブフォームから提出して下さい。
5. 第1項の「完成年月」は対象となる作品の完成年月であり、第11項に記述する工期の途中であっても差しつかえありません。なお、原則的には橋梁等の供用開始の時点をも、完成年月とします。ただし、その他一連の工事の一部としての橋梁等の構造物では、構造物本体が完成したとみなされる時点をも完成年月とします。(舗装、軌道等は未施工でも構いません)。
6. 第3項の「作品に関係した団体」は、募集要項でいう受賞主体であり、賞に推薦することを受賞主体が了解の上応募して下さい。
7. 第4項の「連絡担当者」には、土木学会田中賞選考委員会との連絡を直接担当される方を記入して下さい。
8. 推薦する作品が橋梁そのものでなく、これに類するもの場合には、第5項から第10項までの項目名を、必要に応じて変更のうえ、記入しても構いません。
9. 鋼橋の場合、第6項の「構造形式・上部構造」には、床版構造についても記入して下さい。
10. 第9項の「主材料数量・上部構造」には、鋼重(t)あるいはコンクリート量(m³)を記入し、道路橋や歩道橋の場合には、()内に単位橋面積当りの数量(kg/m²あるいはm³/m²)を、鉄道橋の場合には単線m当りの数量(kg/線/mあるいはm³/線/m)を記入して下さい。なお、橋面積の算出には、有効幅員を用いて下さい。
11. 第12項の「工費」の()内には、道路橋や歩道橋の場合には単位橋面積当りの工費(千円/m²)、鉄道橋の場合には単線m当りの工費(千円/線/m)を記入して下さい。
12. 第13項の「作品の特徴の要約」には、第14項の「作品の特徴」の要約を600字以内で箇条書きにして記入して下さい。
13. 第14項の「工事概要・作品の特徴(計画、設計、製作、施工など)・参考文献」は、3/8までを使用し、それぞれについて見やすく記入して下さい。参考文献が多い場合は代表的なものにとどめ、所定欄を超えないようにして下さい。なお、参考文献は提出期限の時点で既発表のものに限ります。
14. 推薦書4/8～5/8には、一般図および必要があれば部分の詳細図を記載して下さい。
15. 推薦書6/8～8/8には、鮮明な画像データを直接貼り付けて下さい。原則として、作品の全体が分かるような写真を最低1枚、部分や特徴を示す写真を数枚貼り付け、それぞれに簡単な説明を付けて下さい。
16. 推薦書以外の参考資料は一切添付しないで下さい。
17. 提出期限 2024年1月19日(必着)
18. 提出先 田中賞推薦書提出HP URL : http://committees.jsce.or.jp/tanaka_sho/oubo/
19. 連絡先・問合せ 土木学会 田中賞選考委員会 TEL : 03-3355-3442 E-mail : office@jsce.or.jp

※「橋 Bridges in Japan」への資料提供について(ご協力をお願い)

土木学会では、主に国内で竣工した橋梁を対象に「橋 Bridges in Japan」(橋梁年報)を毎年11月頃発刊しております。田中賞の発表後に「作品部門」「技術部門」に応募されたものについて、連絡担当者の方に、橋梁年報編集小委員会より、掲載の可否などについてご連絡させていただきますので、ご協力をお願いいたします。

なお、本推薦書に記載の内容を田中賞選考委員会より提供いただくことをご了承ください。

土木学会構造工学委員会 橋梁年報編集小委員会

土木学会田中賞選考委員会 御中

推薦者

氏名 土木 太郎 (会員番号: 123456789)

所属先 〇〇高速道路(株)

住所 〇〇県〇〇市〇〇

社名等を記載して下さい

令和5年度土木学会田中賞作品部門の選考対象として「
添推薦書のとおり推薦します。

〇〇橋」を別

作品の名称を記載する。
工事名ではありません。
第1項の「対象作品の名称」と同じとする。

以上

書式は変更しないで下さい。また、対象外の欄には「-」を記入して下さい。

1/8

令和5年度土木学会田中賞作品部門推薦書 **新設**

西暦2024年 ○月 ○日 提出

受付 西暦 年 月 日

1	(ふりがな) 対象作品の名称	まるまるはし ○○橋		作品の名称を記載する。 工事名ではありません。	完成年月 西暦 2023年 4月	
2	対象作品の所在地	○○県○○～△△県△△				
3	新設時に関係した団体の正式名称を記載して下さい。 作品に関係した団体	① 企業者 ○○高速道路(株) ② 設計者 上部構造(株) ○○コンサルタント、○○建設(株) 下部構造(株) ○○コンサルタント ③ 施工者 上部構造: ○○建設(株)、○○建設(株) 下部構造: ○○建設(株)、○○建設(株)		・事業主、基本設計、詳細設計、製作会社、施工会社など、関係した団体を併記する。 ・海外事業で、企業者、設計者、施工者の書式によりがたい場合は、自由書式も可とする。		
4	連絡担当者	(ふりがな) はし こういちろう 氏名 橋 好一郎	所属先 ○○建設(株)		TEL 03-4567-8901	
		所属先所在地 〒123-4567 ○○県○○市○○町○○	鋼橋の場合、「構造形式・上部構造」には、床版構造についても記入して下さい。			
		E-Mail address@machigaenaiyoum.co.jp				
5	橋種	道路橋・鉄道橋・歩道橋・その他()	設計活荷重	B活荷重		
6	構造形式	上部構造 PC3径間連続ラーメン箱桁橋	上部工・下部工共通: 主材料として、コンクリート構造の場合はコンクリート量(m ³)を、鋼構造の場合は鋼重(t)を、複合・混合構造の場合は、コンクリート量(m ³)および鋼重(t)を記載する。			
		下部構造 RC壁式橋脚(大口径深礎)	下部工: 直接基礎以外は、基礎工数量(杭種・杭径、総延長等)も記載する。			
7	諸元	橋長・支間割	橋長 252.5m	支間割 75.0m+100.0m+75.0m	遊間、桁かかり長の記載は不要です。	
		幅員構成	有効幅員 6.5m	内訳 0.5m(路肩)+2@2.75m(車線)+0.5m(路肩)		
		主材料数量	上部構造 コンクリート○○m ³ (○○m ³ /m ²)		下部構造 コンクリート○○m ³	
10	主な施工方法	上部構造 片持ち張出架設工法		下部構造 大口径深礎工法		
11	工期	西暦 2021年 5月 ~ 2023年 4月				
12	工費	総工費 ○○百万円 (○○千円/m ²)	上部構造 ○○百万円 (○○千円/m ²)	下部構造 ○○百万円 (○○千円/m ²)		

単位橋面積(有効幅員×橋長)当たりの工費を記載する。

基礎構造は、ケーソン基礎の場合、オープン、ニューマチック等の区分
場所打ち杭の場合、オールケーシング、リバーズ、全周回転等の区分
既成杭の場合、打込み、中掘り、プレボーリング等の区分を記載する。

一般図および必要があれば部分詳細図

〇〇〇〇〇〇 (図を示すスペースであるため、文章による説明は最小限とすること) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 (レイアウトは自由にしてよい) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

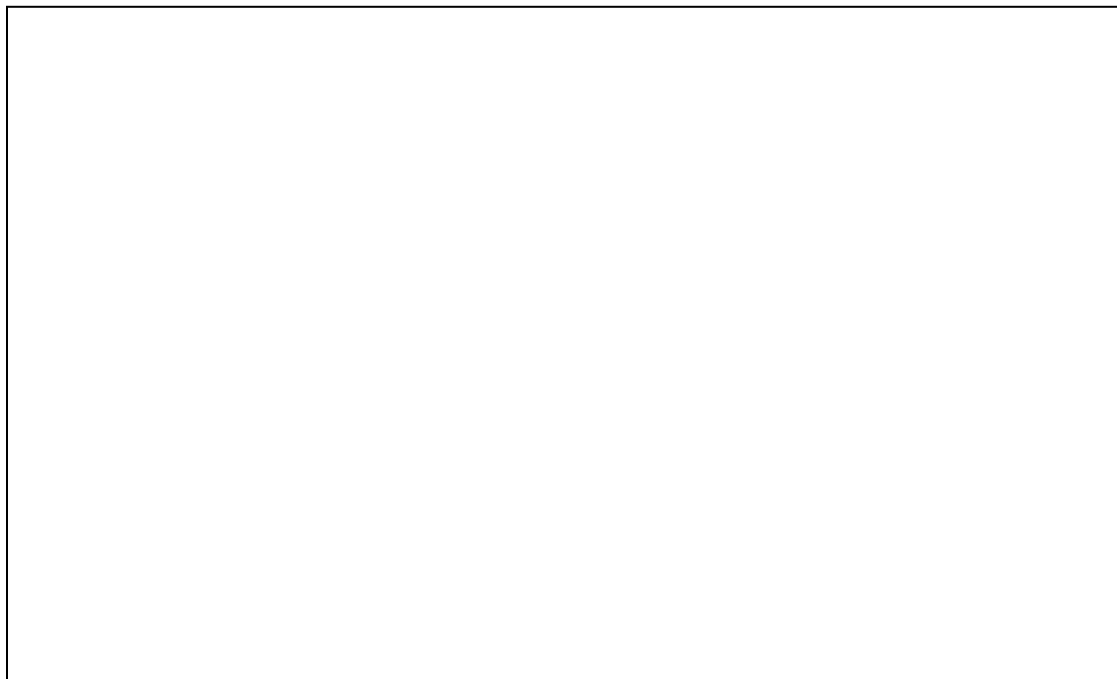


図-1 〇〇橋 一般図

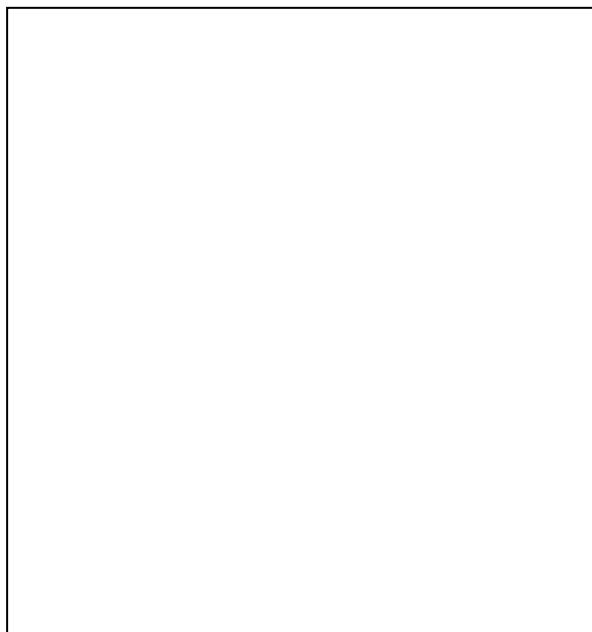


図-2 〇〇部詳細図



図-3 〇〇部詳細図

一般図および必要があれば部分詳細図

〇〇〇〇〇 (図を示すスペースであるため、文章による説明は最小限とすること) 〇〇

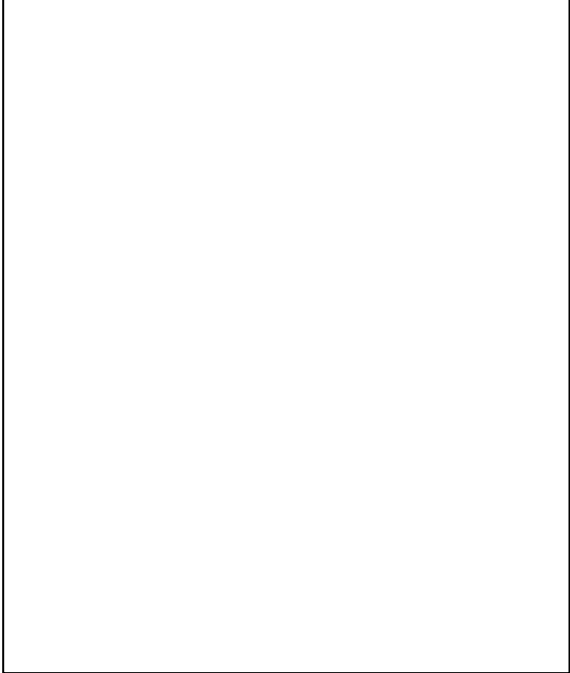


図-4 〇〇〇〇部詳細図

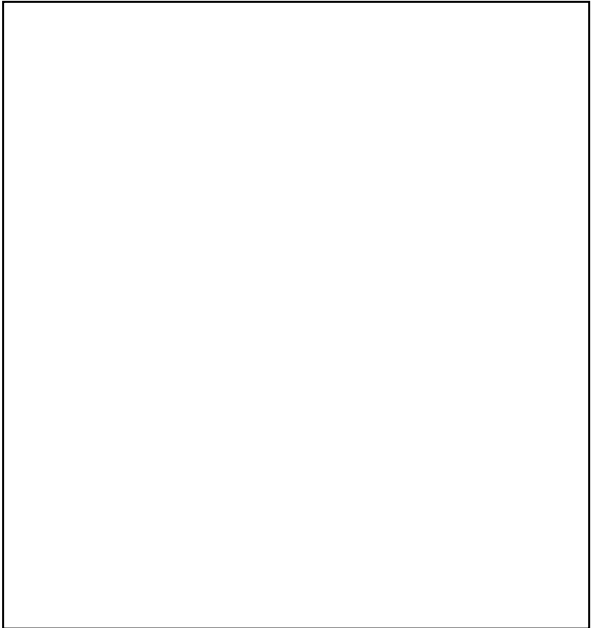


図-5 〇〇部詳細図

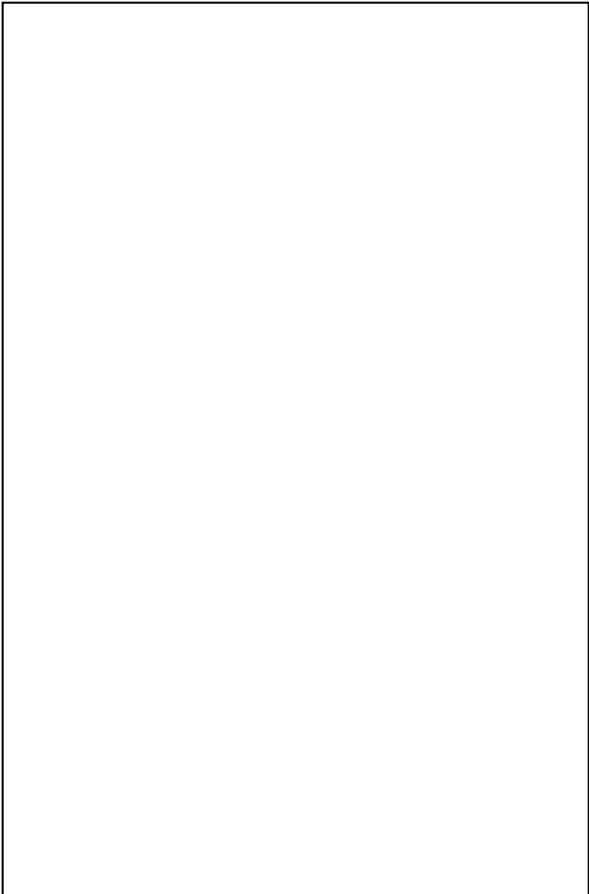


図-6 〇〇部詳細図

写真

〇〇〇〇〇 (写真を示すスペースであるため、文章による説明は最小限とすること) 〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 (レイアウトは自由にしてよい) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇

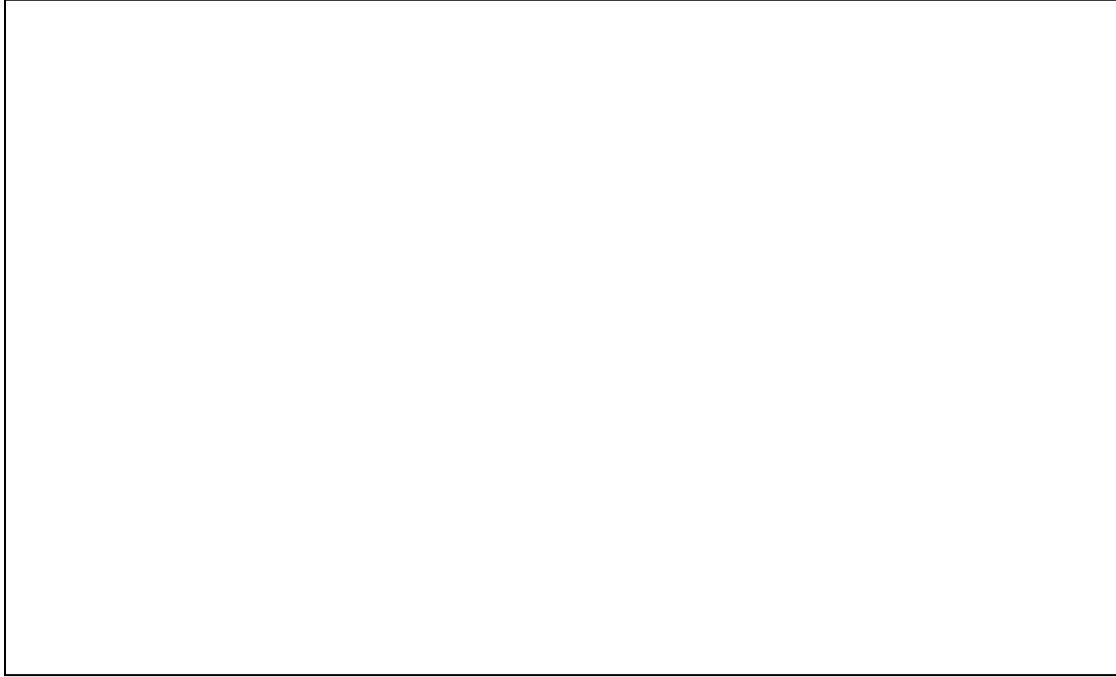


写真-1 〇〇橋周辺



写真-2 〇〇部施工時

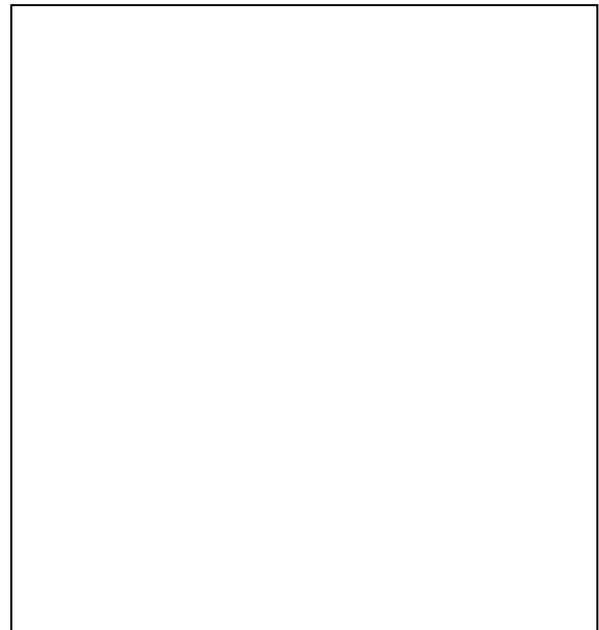


写真-3 〇〇部施工後

写真

〇〇〇〇〇〇 (写真を示すスペースであるため、文章による説明は最小限とすること) 〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 (レイアウトは自由にしてよい) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

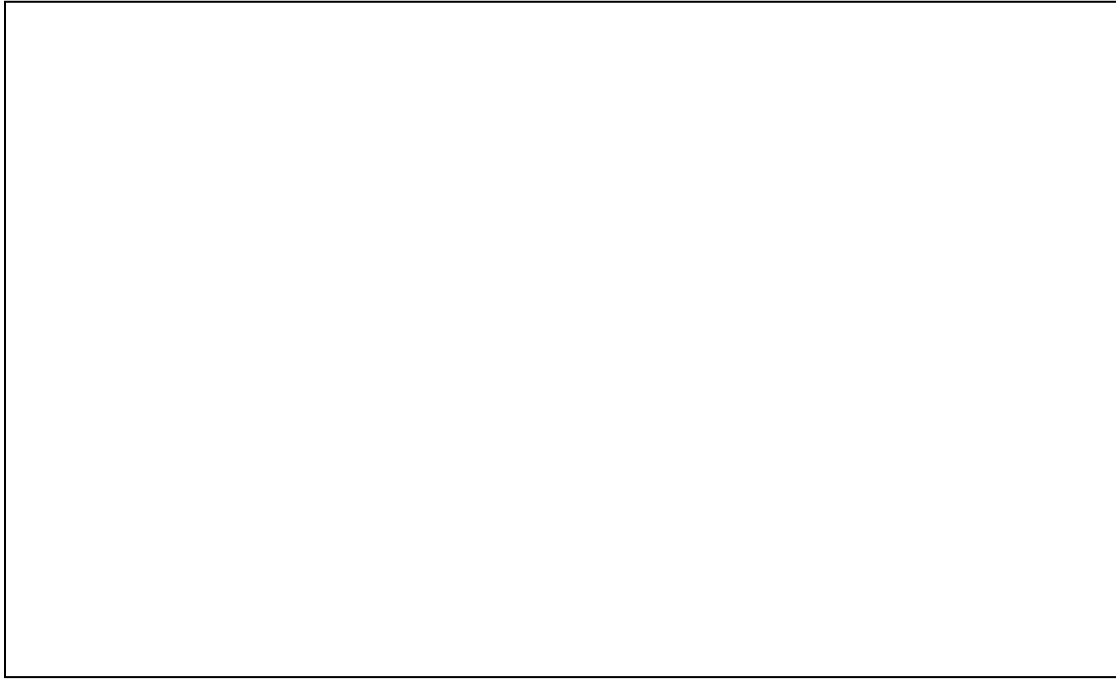


写真-4 〇〇橋周辺

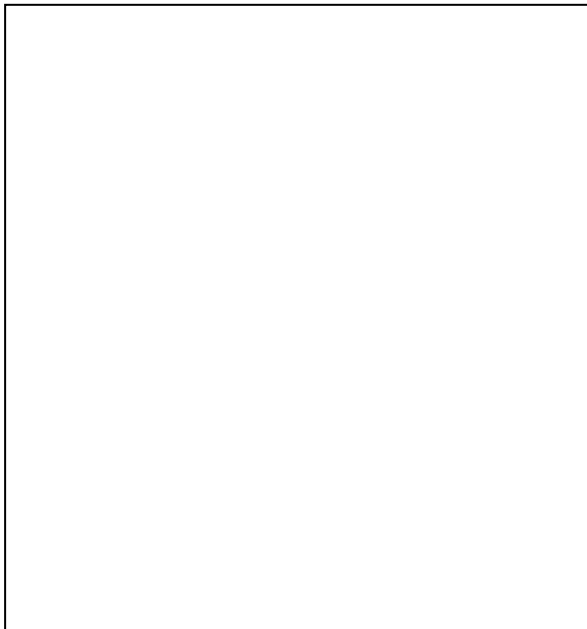


写真-5 〇〇部施工時

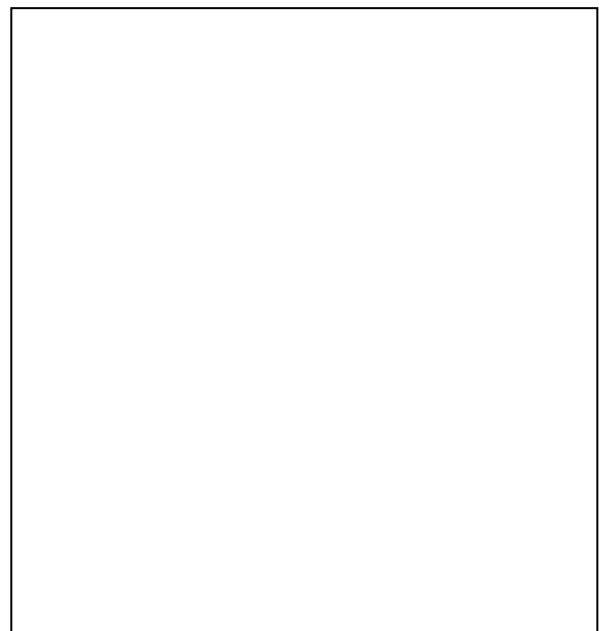


写真-6 〇〇部施工後

写真

〇〇〇〇〇 (写真を示すスペースであるため、文章による説明は最小限とすること) 〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 (レイアウトは自由にしてよい) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇

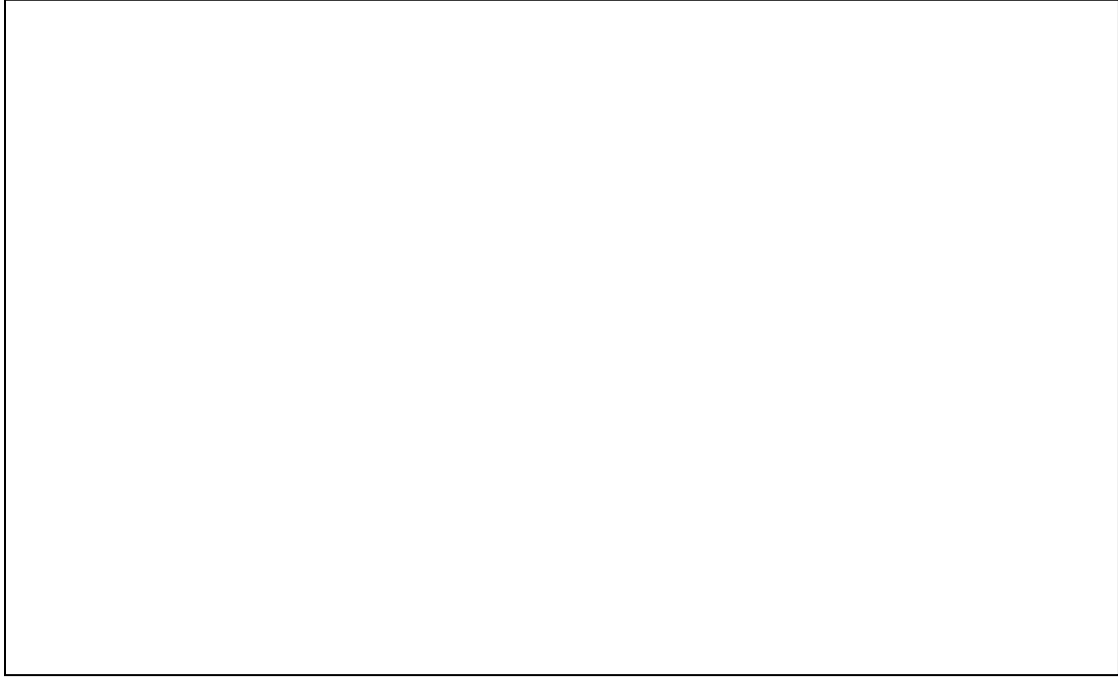


写真-7 〇〇橋周辺



写真-8 〇〇部施工時

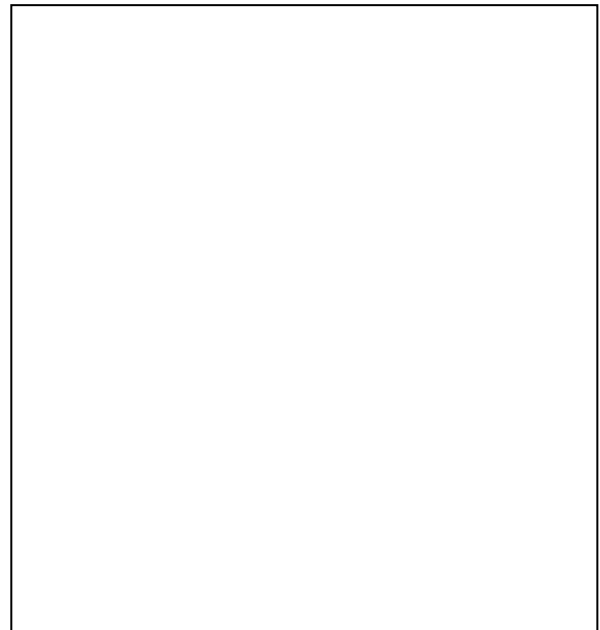


写真-9 〇〇部施工後

企業者・設計者・施工者 連絡担当者リスト

受賞のお知らせ等が速やかに行えるよう、企業者、設計者、施工者（JV の場合はそれぞれ）の連絡担当者の情報を以下にご記入の上、候補推薦書とともにご提出下さい。

企 業 者	所属先（会社名等）： 連絡担当者氏名： (〒) TEL: Email:
設 計 者 (上部構造)	所属先（会社名等）： 連絡担当者氏名： (〒) TEL: Email:
	所属先（会社名等）： 連絡担当者氏名： (〒) TEL: Email:
設 計 者 (下部構造)	所属先（会社名等）： 連絡担当者氏名： (〒) TEL: Email:
	所属先（会社名等）： 連絡担当者氏名： (〒) TEL: Email:
施 工 者 (上部構造)	所属先（会社名等）： 連絡担当者氏名： (〒) TEL: Email:
	所属先（会社名等）： 連絡担当者氏名： (〒) TEL: Email:
	所属先（会社名等）： 連絡担当者氏名： (〒) TEL: Email:
	所属先（会社名等）： 連絡担当者氏名： (〒) TEL: Email:
施 工 者 (下部構造)	所属先（会社名等）： 連絡担当者氏名： (〒) TEL: Email:
	所属先（会社名等）： 連絡担当者氏名： (〒) TEL: Email:
	所属先（会社名等）： 連絡担当者氏名： (〒) TEL: Email:
	所属先（会社名等）： 連絡担当者氏名： (〒) TEL: Email:

* 記入枠は、必要に応じて増減して下さい。